

設立 平成24年 5月15日
開塾 平成24年 9月 8日
発行 平成30年10月14日
(72号)



[事務局] 〒648-0094
橋本市三石台4-1-15
TEL 0736-38-3669
FAX 0736-38-3680
発行 學塾・中之島事務局



「大いなる力と繋がるために」

副代表 中川千都子

第7期人間学塾中之島にご入塾の皆さま、まことにおめでとうございます。

このたびの新たなご縁に心より感謝いたします。新しい期の始めに期待に胸を弾ませておられることと思います。

ところで、我々がこうして集い、共に学ぶ「人間学」とはいったい何なのでしょう。一言で表現するならば、それは「人間力を高めてゆく学び」であります。

では、「人間力」とはいったい何なのでしょう。あらゆる分野の先生方によるさまざまな説明や解釈があろうかと思いますが、私は「人間力」とは、本来そもそも人間が持ち得る徳性であり、それを生涯かけて伸展させてゆく学びが「人間学」であると常々思っています。

人はもともとが神の分霊であるからこそ、生れ落ちたときからその徳性が備わっている。肉体を持つているがためにそのことは体感しにくく、小さな我としての個我にこだわってしまいがちになるものの、誰もがよりよく成長したいと望むのは、その神としての本来の自分を生きるべく、人生において切磋琢磨している姿ではないか、と思うのです。

神とは、決して宗教に限られたものを指すものではありません。森信三先生は神について下記のようにおっしゃっております。

「神とは、この大宇宙を内容とするその根本的な統一力であり、宇宙に内在している根本的な生命

力である。」（『修身教授録』より）

森先生は、すべてを生かし活かす大いなるエネルギーそのものを「神」と定義されたのです。

日本は憲法で万人に幸福を追求する権利があることを謳っている国です。しかしながら毎年三人近くの人々が自ら命を絶つ自殺大国でもあります。その要因は複合的で一概には言い切れませんが、人間力が乏しくなるとき、人は生きる力をも落としてしまうものかもしれません。

神なる自分を忘れ個我にこだわり続ける限り、求めても求めても幸福からはほど遠い生き方に陥るのではないかと……かく言う私自身もしばしば小さな自分にこだわってしまったため、本来の徳性（神なる自分）を心するための10か条を用意し、自分を振り返るようにしています。

- (1) 過去を放し、新たに新たに生きよ。
- (2) 感謝一筋に生きよ。
- (3) 一切の報いを求めずに与えよ。
- (4) どこまでも謙虚たれ。
- (5) 一分一秒を大切に真剣に生きよ。
- (6) 他の幸せを喜ぶ大きな心を持て。
- (7) 全ての責任を自己に帰す総責任者たれ。
- (8) 自分を捧げて全体の恩返しに生きよ。
- (9) 自分を脇に置き、他の幸せを優先せよ。
- (10) 全てを光に見て明るく生きよ。

人間学を学び、人間力を磨いていくことは、目には見えない大いなる力と繋がっていくことだと実感しています。

皆さまお一人お一人にとって豊かな学びと実りの一年となることを確信しております。ありがとうございます。



入 塾 式



歓迎の集い

於 佐治敏三ホール



日本を美しくする会
副会長 白鳥宏明氏



私の「入塾動機・目的」

「Aグループ」



明石恒重

私は当年八十六歳、不勉強のまま事業一筋に生きてきましたが、人間学塾にご縁を戴き、蘊蓄ある沢山の講師と、若い塾生のみなさまに囲まれ、感謝と共に体力の限り頑張る覚悟です。

池永辰朗。



私の新たな人生は、四年目になりました。「おいしい饅頭を独り占めにするな!!」を意識し、七期もしっかり学んでいきます。

岩崎二三子



六十四年間生きてきたことに感謝しています。ですがまだ死への覚悟ができていません。裏返せばそれは生き方の問題であり、私には人間塾の教えの心願結実がありません。



大塚久利

良師・良縁のご縁をいただき、学びの間へ出かけ、学び続け、世の中へご恩返しさせていただくために、実践し続けたいと念じております。



角高憲治

第六期卒業式において「行事・心願・結実」にて「行事」という字義に気付きました。私の人生のテーマは、「良いことの継続」ですが、実践を伴った学びを続けてまいります。



北嶋紀子

人格の陶磁、修養を目的とし、日々学びを実践されている塾生のみなさまとのご縁の中で、私も切磋琢磨、成長したいと思っています。今期も宜しく願ひします。

一眼は遠く歴史の彼方を、
そして一眼は脚下の実践へ。

森 信三先生



小南昭雄

人間学塾・中之島で最低十年は学ぼうと決めました。三期から入塾し、七期で折り返しの五年目になります。いま一度初心ではなく初一念を思い出し学びたいと思います。



志村隆夫

人間学塾・中之島で良き先生方について学び、素敵な学友に恵まれて少しでも人様のため社会のお役に立てますように、学びを深めたく継続させていただきます。



柴原啓司

自分の心、他人の心を移す鏡のような存在になりたいと思います。皆様と共に精進できることを心より感謝しております。第七期もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



田中樞子

歳月、人を待たず。昭和・平成・〇〇と元号が変われど生きるつもりですが、歳月は自然に流れてゆきます。世の流れを学ばねばならぬ第七期です。

一球一球のつみかさね
一打一打のつみかさね
一步一步のつみかさね
一坐一坐のつみかさね
一作一作のつみかさね
一念一年のつみかさね
つみかさねの上に
咲く花
つみかさねの上に
熟する実

それは美しく尊く
真の光を放つ

坂村真民



「心願」とは、人が内奥深く秘めている「願い」であり、如何なる方向に向かつてこの自己を捧げるべきかと思ひ悩んだあげくのはて、ついに自己の献身の方向をつかんだ人の心的状態といつてよい。

森 信三先生



橋本美津枝

何歳になっても学ぶことはいくつもある。努力したことに無駄なことはひとつもない。ひとりでも多くの方から、できるだけ多くの話を聞いて自分の心を養いたい。



西田京子

講師の皆様方の話も、塾生との対話もすべて学び、種々の出逢いをいただきました。すべては我が師。今期はどんな出逢いがあるでしょうか、楽しみます。



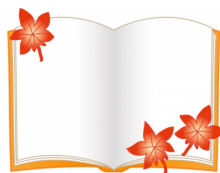
松田泰英

前期に初めて一年間通じて参加させていただき、大変勉強になりました。今期も皆さんと一緒に素晴らしい講師の先生方のご講話をお聴きして学びたいと思います。



本田実

動機・目的があいまいになつていきます。なぜ学ぶのか、なぜ続けるのか。自分に負荷をかけながら問い続けてみようと思います。



母の姿に 泣けてくる

坂村真民

じつと諭して 下さった

じつと諭して 下さった

純情を愛の翼で はげまして

われに母あり 人生の生きゆく力



渡辺真知子

二年目です。私を暖かく受け入れてくださり感謝感謝です。矢作先生を追っかけて入塾したのに、急病で欠席。三年目は再度矢作先生と執行さんのご講義を…!! 記念



吉田臣造

ご縁を大切に、使命に生きる。



大和 真

第七期も継続して入塾させていただきました。人生の先輩の方々が、多くおられますので、経験談などを伺って自分の知識を増やせるように頑張りたいと思います。



山崎千晶

人間学塾・中之島で学ばせていただいたことを、日々の生活の中で千晶スマイルを共に実践していきたいと思っています。

人はその一心だに決定すれば、如何なる環境に置かれてようとも何時かは必ず、道が開けてくるものである。

森 信三

「Bグループ」



浅野 豊



入塾してから二年目になります。
一つ一つの講座、ひとつひとつの出
逢いを大切にしていきたいと考えて
おります。

石黒 尚



今期も徳を累ねられるように、ま
た今期も皆勤賞を頂戴できるように
頑張ります。みなさま一年間どうぞ
宜しくお願いします。

大西由香



私は動中の工夫で学ぶことが好き
です、静中で学ぶことは未だに苦手
です。しかし、苦手なことは得意に
なる可能性があると思いますので、
今期は肩の力を抜いて頑張ります。

立腰とは、すなわち二六時中、その腰骨を
立て通すことである。この立腰こそ人間の
主体を立てる極秘伝である。

森 信三先生



感謝!! ①読書の習慣が身についた。
②仲間との感動語録のシェアと会
話。③ビッグな講師の講話を聴ける。
④そして塾の運営をしている世話人
のみなさま。

佐川博敏

身近な人のご恩が
わからなければ、
真の幸せには
めぐりあえない。
東井義雄先生



川又タカ子

人の縁は不思議なもので、枚岡神
社で宮本ご夫妻にお目に掛かりまし
た。この年齢を迎え人間磨きをした
く時間を逢わせようと思った次第で
す。ご縁を感謝いたします。

小寺啓之



徳に辞める理由もなく、第七期に
継続します。講義を聴いてもすぐに
忘れてしまいます。翌月の中之島ニュー
スで思いだし、また忘れ、毎回の講
義は新鮮、また非日常空間が良いです。



重藤悦男

三年目の今期は、自然・文化との
触れ合いを通じて、時空人間認識を
高め、この星がさらにわくわくする
わくわく星になるよう動いていき
たい。

田中喜一朗



初心を忘れずに良い緊張感をもつ
て講座に臨み、気付いたことは、
「即行即止。間髪入れずに実行」を
日々の生活指針とし、毎月の「行持・
心願・結実」を明確にした一年を送
ります。

人から感心されることをやっていては
だめ。人から感動される人間にならな
ければだめ。自分にとって割の合わな
いことを笑顔で進んで引き受けていく。
そしてそれ続けること。その時、人
はよくあそこまでやったと感動してく
ださるのです。

鍵山秀三郎先生



昨年入塾しまして各界の講師の方のお話しを、大変興味深く拝聴しました。塾生の方も皆様若々しく前向きで「自分も頑張って勉強しないと」と思いました。学んでいきます。

浜本雅巳



日々の生活に追われる中で、曇ってしまった心の洗濯。実践を積む仲間のパワーをお裾分けいただきエネルギー補給。心の支えとなる言葉の邂逅。また一年宜しくお願い致します。

野依佐千子



一、何をするにも体力―歩く量を増やす。一、学びを実践するための自分に合った行動一、信頼・愛、繋がりを前進と結びつけていく。

西尾千恵子



天分塾入塾から十一年目になります。再び一年生の気持ちで学ばせて頂きます。みなさま宜しくお願い致します。

中村隆行

整理整頓は、仕事の能率、効率を高め、清潔清潔は、仕事の質をよくする。

鍵山秀三郎先生



すべてに感謝し、いまを精一杯生きるための学びの場。

吉野秀則



第七期では、みなさまとのご縁を大切に、感動・感謝と奮闘努力を忘れず、何事にも興味好奇心を持って、(起動・前向きに色々なことに挑戦します。

横井 康



与えていただいた命。丁寧深く生きる。同志から教えを乞い、深く生きることを学びとします。ご指導宜しくお願いします。

三浦しげみ

身近な人のご恩がわからなければ、真の幸せにはめぐりあえない。

東井義雄先生



「人の役に立つ人間力をつける」為の実行実践力をつけるために継続します。自然体で「今、ココ」を生き生きと生き、目の前の人を喜ばせる生活をコツコツ重ねて生きます。

町田豊彦



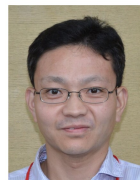
中尾文彦



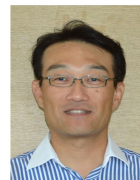
土屋 章



下 正晴



嶋田 泉



神前雅洋



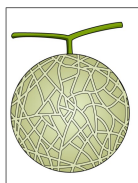
清林由佳



恵藤直子



山田 司



光田誠次



森口育子



橋詰正子



萩 利夫



中村美智留



「笑顔は天の花」
笑顔によって、相手の心の扉が開けたら… …。
森 信三先生

『お薦め書籍』

『世界でたったひとりの自分を大切にする』

聖心会シスターが贈る大きな愛のことば

鈴木秀子 著

◆ 発売 H30年10月26日



出版 文響社
定価 一八八円(税込み)
ISBN 13: 聖心女子大学で

シスターは、「人との違いは、不平等ではなく個性」と語ります。桜には桜らしい咲き方が、すみれにはすみれらしい咲き方があるように、私たち人間それぞれにも、自分にしかできない咲き方があります。桜しか咲かない世界よりも、色々な花が咲く世界のほうが美しいように、人間社会も色々な人がいるから素晴らしいのです。自分らしく幸せに生きるために必要な、「3つの絆を育てる」という考え方をお伝えします。

『先師の学び』

「一生の縮図」

「一日は一生の縮図なり」というのは私の信条だ。一生は過ぎ去ってみないことにはわかりっこない。だが、自分の一生がどうなりそうかということとは、いまのうちに見当をつけなくてはいけない。そしてその見当をみるには、いまいうように、一日の予定がどこまで果たせたかどうかということ、常に見ておらねばならない。つまりわれわれが、朝目を覚ますということは、赤ん坊として生まれたということ。夜寝るのは、棺桶に入るということだ。一生の縮図がそこにあるのだ。

森信三『運命を創る一〇〇の金言』より

『人間学塾・中之島』

11月 カリキュラム(宿泊研修)

*日時 11月10日～11日(第2土～日)

午後12時00分～ 受付

*場所 宿坊「無量光院」

和歌山県伊都郡高野山町高野山六一一

*受付 午後0時30分～

*開講 午後1時～

一日目 木地茂典先生

「岡 潔博士と日本の情緒」

1964年和歌山県に生まれる。1982年横浜市立大学文理学部数学科卒業。県立高校数学教師を経て、現在高野山大学 高等学校講師、2008年橋本市岡潔数学WAVE会長として、大人・子ども対象のおもしろ数学・算数教室に参画、数学者岡潔博士の顕彰活動を行っている。

二日目 武藤杜夫先生

「なぜ、少年院で人生が変わるのか」

1967年東京都生まれ。中学生時代から非行が始まるも、教育者としての使命に目覚めたことで猛勉強の末法務省に採用される。その後は少年院の法務教官として多くの非行少年を更生に導き、スーパー公務員として注目を集めるが、昇任を固辞して突然辞職。教え子である少年院の卒業生らと「日本こどもみらい支援機構」を設立する。

〔特別 カリキュラム〕

* 勤行参加

* 写 経 (筆ペンをご準備ください)

* DVD放映「森信三先生講演録」

* 奥の院参詣(弘法大師御廟)

*詳細は、「秋季宿泊研修」案内を参照

『大悟徹底』

「人間の基本」

(西中 務先生)



天分塾の学習内容に「生き方の原理原則」がありますが、最近の政治状況は「生き方」よりも「人間の基本」が問題となっていると思います。

東京大学はじめ国立大学の卒業生が毎年、五万人とすると三〇年間で一五〇万人近くの人間が各方面で活躍しています。難関大学を卒業した者が日本の政治・経済を動かしていることは間違いありません。しかし、政治や経済は一向によりくなりません。逆に悪化の一面をたどっています。どうしてなのでしょう。私はかつて国会議員の後援会長を一〇年以上関係し、政治に非常に関心を持っています。

歴代の首相、大臣の人間性を疑わざるを得ない状況です。人間の基本が全く出来ておりません。

松本龍 前復興相は宮城県知事を訪問したとき「ちゃんとやれ、しっかりやれよ、やらなかったらこつちも何もしない。お客さんが来るときは自分が入ってから呼べ、知らんぞ、今の部分はオフレコな、書いた社はこれで終わりだから」と言っておりま。まさにヤクザの脅しであり、恫喝です。このような人物が大臣であると思うと本当に悲しくなります。

明治・大正・昭和にわたり活躍し、近代日本画の巨匠、横山大観は「人間ができて初めて絵もできる」と言っております。

画家は技術だけでは、人の心を打つよい絵は描けない。人間性(品性)を培う努力、内面を高める努力の大切さを訴えています。

鈴木民二塾頭はいつも外側よりも内面の大切さを説いておられます。私たちは内面(人格)を高める努力を一生続けたいものです。

「天分塾ニュース」平成23年8月